

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Anesth 2006; 20: 300-3	Respiratory failure due to morbid obesity in a patient with Prader-Willi syndrome : an experience of long-term mechanical ventilation	Nishikawa M, Mizutani, T	集中治療診療グループ
人工呼吸 23: 201, 2006	人工呼吸器を用いる際の安全対策-ナースコール連携システムの有用性-	清水 雄、水谷太郎	集中治療診療グループ
人工呼吸 23: 233-4, 2006	CPAP マスク「プーシナック」使用時の HME 併用は加湿に有効か	津山享子、水谷太郎	集中治療診療グループ
Cancer 106:648-53, 2006	Expression of the bax inhibitor-1 gene in pulmonary adenocarcinoma.	Tanaka R, Inadome Y, Morishita Y, Kano J, Noguchi M	病理学的診断
Cancer Sci 97:106-12, 2006	Phenotypic characterization of endometrial stromal sarcoma of the uterus.	Yamada K, Kano J, Noguchi M	病理学的診断
J Clin Oncol. 24:70-75, 2006	Neuroendocrine neoplasms of the lung:a prognostic spectrum.	Asamura H, Noguchi M	病理学的診断
J Oral Maxillofac Surg. 64:81-86, 2006	Predictive factors for the histologic response to preoperative radiotherapy in advanced oral cancer.	Onizawa K, Noguchi M	病理学的診断
Int. J. Cancer 118:2498-2504, 2006	Frequent <i>EGFR</i> mutations in noninvasive bronchioloalveolar carcinoma.	Matsumoto S, Noguchi M	病理学的診断
Journal of Thoracic Oncology 2:160-167, 2006	The ACIN1 gene is hypermethylated in early stage lung adenocarcinoma.	Shu Y, Kano J, Anami Y, Noguchi M	病理学的診断
Eur J Radiol 59:60-64, 2006	CT-guided needle biopsy of lung lesions: A survey of severe complication based on 9783 biopsies in Japan.	Tomiyama N, Noguchi M	病理学的診断

10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Pathol Int 56:434-439, 2006	Characteristics of loss of heterozygosity in large cell neuroendocrine carcinomas of the lung and small cell lung carcinomas.	Takeuchi T, Noguchi M	病理学的診断
World J Gastroenterol 12:3740-3745, 2006	Immunohistochemical expression of mismatch repair genes: A screening tool for predicting mutator phenotype in liver fluke infection-associated intrahepatic cholangiocarcinoma.	Liengswangwong U, Noguchi M	病理学的診断
JTO 1:780-786, 2006	Analysis of differentially expressed genes in neuroendocrine carcinomas of the lung.	Okubo C, Anami Y, Morishita Y, Noguchi M	病理学的診断
Cell Biology International 30:992-998, 2006	Differentiation potential of an immortalized non-tumorigenic human liver epithelial cell line as liver progenitor cells.	Tokiwa T, Noguchi M	病理学的診断
Cancer Res 66:11131-11139, 2006	Consistent liver metastases in a rat model by portal injection of microencapsulated cancer cells.	Enomoto T, Noguchi M	病理学的診断
Surg Today 36:382-384, 2006,	Effectiveness of steroid treatment for hoarseness caused by idiopathic fibrosing mediastinitis: Report of a case.	Ichimura H, Noguchi M	病理学的診断
Eur J Pharmacol. 2006 ;553(1-3) :54-60.	Effect of norepinephrine on RhoA, MAP kinase, proliferation and VEGF expression in human umbilical vein endothelial cells.	Seya Y, Fukuda T, Isobe K, Kawakami Y, <u>Takekoshi K</u>	臨床病理

7件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Metabolism 2006; 55:1122-1128.	Long term exercise stimulates AMP-activated protein kinase activity and subunit expression in rat visceral adipose tissue and liver.	Takekoshi K, Fukuhara M, Isobe K, Kawakami Y, Ohmori H.	臨床病理
Journal of Neuroendocrinology, in press, 2007.	AICAR stimulates Tyrosine Hydroxylase activity and Catecholamine Secretion by Activation of AMPK in PC12 Cells.	Fukuda T, Isobe K, Kawakami Y, Takekoshi K	臨床病理
Hormone Research 68: 68-71, 2007	Novel germ line mutations in the SDHB and SDHD genes in Japanese pheochromocytomas	Isobe K, et al	臨床病理
Biological Psychiatry	A Polymorphism in the PDLIM5 Gene Associated with Gene Expression and Schizophrenia	有波忠雄	遺伝
Clinical and Experimental Allergy	ADAM33 polymorphisms are associated with asthma susceptibility in a Japanese population	有波忠雄 野口恵美子	遺伝
Journal of Human Genetics	An association between asthma and TNF-308G/A polymorphism: meta-analysis	有波忠雄 野口恵美子	遺伝
Epilepsy Research	Molecular genetics of febrile seizures.	有波忠雄	遺伝
Journal of Human Genetics	Analyses of the associations between the genes of 22q11 deletion syndrome and schizophrenia	有波忠雄	遺伝
臨床看護 32 (9), 1356-1360, 2006.	外来看護の今とこれから 第4回 睡眠外来	片寄泰子	睡眠呼吸障害
Medical Technology 34 (13): 1699-1704, 2006.	最新臨床検査機器のすべて 生理機能検査機器 7) 睡眠時呼吸障害検査機器	片寄泰子	睡眠呼吸障害
精神科治療学 21(6), 589-595, 2006.	睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の病態と診断—精神科医にこれだけは知ってほしいこと—	佐藤 誠	睡眠呼吸障害

11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Mebio 24(3): 104-113, 2007.	睡眠時無呼吸症候群 睡眠時無呼吸症候群の治療と予後 1. CPAP	安田 京	睡眠呼吸障害
微研ジャーナル友. 29:3-10, 2006.	いびきと閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群-睡眠呼吸障害診療の現状.	佐藤 誠	睡眠呼吸障害

2 件
281 件

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長	山田 信博
管理担当者氏名	医療情報部長	五十嵐 徹也
	薬剤部長	幸田 幸直
	病院総務部総務課長	邊見 達義、医事課長 原 忠篤

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報部 薬剤部 総務課	カルテは一患者一ファイルにより医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従事者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	体規制則 確第 保9 の条 状の 況2 3 及び 第 11 条各 号に 掲げ る	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	有
	医療に係る安全管理を行なう部門の設置状況	臨床医療管理部	有
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療福祉支援センター	有
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部	有
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会	月1回
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部	年9回
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	電子媒体

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 山田 信博
閲覧担当者氏名	総務課長 邊見 達義、医事課長 原 忠篤
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部 総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 2件
	地方公共団体	延 2件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.3%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,932人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,688人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		962人
	D: 初診の患者の数		20,639人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13 - 2)

規則第 9 条の 23 及び第 11 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (2) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 ・ 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 ・ 医事紛争支援 ・ 医療サービスの向上のための企画及び教育 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織として事故防止に取り組む。 ・ 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 ・ 事故防止のための教育研修システムを整え、教育研修を年 2 回以上行う。 ・ 医療事故防止マニュアルを必要に応じ閲覧に供する。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床医療管理部から報告を受け、インシデントレポート、オカレンスレポート等の分析、改善案等を協議する。 ・ 医療事故の防止のための啓発を図る。 ・ 医療事故が発生した場合の適切な対策を協議する。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 期の研修プログラム 「医療事故と再発防止対策」 第 2 期の研修プログラム 「医療を受ける人の視点」 臨時の研修プログラム 「茨城県における医療安全と地域医療について」 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦ ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 転倒・転落リスクの高い患者のベッド柵を原則 3 本とした。 ・ 留置した胃管から液体等を注入する前にレントゲン写真等によって確認すること。 ・ 手術および処置における圧縮空気の噴射を必要最小限にすることとした。 	